

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	昨年度は全職員が「チーム鬼塚」として校内研や開発的生徒指導に取り組み、授業改善や問題行動の未然防止に成果が見られた。 残る課題としては学力の向上、生徒同士の人間関係に起因する生徒間トラブル、不登校生徒の増加などがある。 本年度は、授業改善をさらに進めるとともに、組織的な生徒指導を発展させながら心の教育や生徒の人間関係づくりを促進し、不登校対策を充実させる必要がある。
2 学校教育目標	『感動 感謝 思いやり』 ～ 支え合う生徒、支え合う先生、支え合う学校づくりを通して ～
3 本年度の重点目標	① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。 ② 豊かな心を育み、人間関係づくりを充実させ、生徒間トラブルを減少させる。 ③ 不登校対策を充実させる。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」及び「唐津市アクションプラン」を基本とした授業づくりを推進する。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○「めあて」「学び合い」「まとめ」「振り返り」の流れを取り入れた授業づくりを行う。	○「友達の意見や考えを聞いて学習内容が分かったり、なるほどと思ったりしたことがありますか。」に肯定的な回答の生徒の割合80%以上								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価の保護者および生徒アンケート「心の教育項目」達成率をそれぞれ75%以上	・人権・同和教育を根幹におき、道徳教育や特別活動を充実させ、仲間づくりを推進し、豊かな心を育む教育を推進する。 ・日常の生徒観察や教育相談アンケート(心のとびら)を年10回実施し、事象の掘り起こしと生徒の心の変化の共通理解に努める。 ・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・各学年主任 (主)生徒指導主事 (副)各学年主任 (主)教務主任 (副)各教科主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上								
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える生徒90%以上								
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・毎日の給食時の放送で、食に関する様々なトピックスを紹介する。 ・交通安全教室の実施や職員と育友会や外部機関と連携しての登下校時の見守り活動を行う。							・給食指導担当 ・養護教諭 ・生徒指導主事
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・業務上の資料配布や事務的な連絡事項をシステム上で行い、システムを活用しなければならない必然的な環境を構築する。							・管理職 ・管理職
	○事務システムポータル及び校務システムの有効活用	○事務システムポータルを毎日3回チェックする職員100%								

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○不登校対策	○教育相談運営体制の充実と不登校生徒への支援拡大	○本項目は数値目標はそぐわないので、不登校対策委員会にて相互に質的評価を行う。	・SC、SSW、SSF等外部機関との連携を強化する。 ・ケース会議を工夫し有効な支援策を探る。							・教育相談担当 ・養護教諭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------